

脳卒中・脳神経外科・循環器病関連の治療を受けられた患者さん・ご家族様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。この研究は、日常で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために新たな検査などは行いません。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお申し出ください。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますのでご了承ください。

2026年4月21日

1	対象者	2010年4月1日～2030年12月31日の間にJ-ASPECT研究*参加施設に入院及び以後通院されている方
2	研究課題名	レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査
3	研究責任者	飯原 弘二 国立循環器病研究センター 循環器病対策情報センター長
4	当院の研究代表者	田島 孝士 東松山市立市民病院 診療部長 脳卒中内科部長
5	研究の目的	今回の研究では、救急搬送を含む入院から退院までの一貫した脳卒中、脳神経外科及び共通リスクを有する循環器病（急性心筋梗塞、急性心不全、大動脈解離など）治療に関する大規模データベースを構築し、その実用性、妥当性の検証を行うことを目的とします。
6	利用するカルテ情報・資料	生年月（日）あるいは年齢、性別、発症年月（日）、入院年月（日）、退院年月（日）、退院先、自宅郵便番号（研究利用前に事務局において下4桁の削除）、診療報酬算定情報（DPC）、入院経路：救急車による搬送、他院よりの紹介、入院前及び入院後生活自立度（mRS）、入院中死亡の有無、脳卒中・循環器病による入院、初期重症度（JCS、GCS、NIHSS、Hunt&Hess grade、ICH grade、Hunt&Kosnik grade）、入院中の看護必要度、神経学的所見、バイタル（血圧、脈拍）検査データ（血球、生化学；腎機能、LDL-Chol、血統、HbA1c）、搬送から画像撮影までの時間、搬送から組織プラスミノゲン活性化因子（rtPA、血栓溶解療法）投与までの時間、搬送から血管内治療のための穿刺までの時間、血栓回収を行った場合の再開通度（TICI grade）、rt-PA 静注療法または血管内再開通療法を施行した患者での36時間以内の症候性頭蓋内出血（NIHSS4点以上悪化の有無）、退院90日後mRS、画像診断、検査〔MRI、MRA、CT、脳血管造影、頸動脈超音波検査〕、リハビリテーションの有無、脳卒中・脳神経外科疾患・循環器病関連の診療にかかわる治療内容（投薬内容、開頭手術やカテーテル治療など）、退院サマリー・看護サマリー・診療情報提供書・診療記事・看護記録
7	情報の管理責任者	国立循環器病研究センター 理事長
8	研究の実施体制	この研究は、他機関と共同で実施します。研究体制は以下の通りです。 研究代表者 国立循環器病研究センター 循環器病対策情報センター長 飯原弘二 ① データ解析のため、データベースにアクセスする担当者及び所属（分担研究者） 有村公一、下川能史、黒木亮太 九州大学大学院医学研究院脳神経外科 西村中 九州医療センター 脳神経外科 黒木愛 福岡市立こども病院 脳神経外科 嘉田晃子 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 松本省二 藤田医科大学 脳卒中科 竹上未紗 東京大学 医学部・医学系研究科 公衆衛生学分野 福田仁 高知大学 医学部 脳神経外科 丸山大輔 京都府立医科大学 脳神経外科 松重俊憲 広島市立安佐市民病院 脳神経外科 板谷智也 宮崎大学 生活・基盤看護化学講座 教授 平和也 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻予防看護分野 准教授 田中晴佳 神戸市看護大学 健康生活看護学領域 精神看護学分野 准教授 小橋昌司 兵庫県立大学 先端医療工学研究所長 斉藤敦志 弘前大学大学院医学研究科 脳神経外科学講座 教授 福田俊一 京都医療センター 脳神経外科診療部長 大間々真一 岩手医科大学附属病院内丸メディカルセンター 総合診療科 吉田和道 滋賀医科大学 脳神経外科講座 教授 三浦克之 滋賀医科大学 社会医学講座 公衆衛生学部門 教授 ② 情報をこの研究に提供のみ行う機関（研究参加機関・研究協力施設） <a href="https://j-aspect.jp/sisetsumap.php">https://j-aspect.jp/sisetsumap.php</a> にて公表
9	外部機関への情報等の提供	この研究で収集した情報を、上記①の研究機関で共有し、共同で研究を行います。共有する際は、あなたのお名前等は削除し個人が直接特定できないようにします。研究で取り扱うDPCデータは、各施設が割り振ったデータ認識番号が紐づけられて提供され、データ識別番号と個人情報との対応表は各機関内でのみ保

		<p>管します。事務局や他の研究機関への提出は行わないため、研究者が指名、電話番号、住所などの個人情報と紐づけることはできない状況（仮名加工情報）となっています。この研究で収集して解析する情報は、業務委託先である健康保険医療情報総合研究所（PRRISM）が研究参加機関（研究協力施設）より収集し、情報を収集する際には、あなたのお名前等は削除し、個人を直接特定できないよう加工します。加工された情報は国立循環器病研究センターに集約され、国立循環器病研究センター 循環器病対策情報センター長 飯原弘二が主導する脳卒中・脳神経外科医療疫学の調査目的のデータベースに登録を行っております。詳細を知りたい方は、以下のホームページをご覧ください。</p> <p><a href="https://j-aspect.jp">https://j-aspect.jp</a></p>
10	業務委託	（株）健康保険医療情報総合研究所（PRRISM）代表取締役社長 山口治紀
11	外部機関からの情報提供	当院は、J-ASPECT 研究*に参加する研究協力施設より学術目的で情報提供を受けます。上記の「利用するカルテ情報・資料」に示した内容の情報の提供を受けます。
12	研究機関	倫理委員会承認日～2031年3月31日（予定）
13	個人情報の取り扱い	お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。本研究で得られた臨床情報及びそのデータの収集方法を将来、脳卒中や循環器疾患の研究のために二次利用する場合や、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。同意取得の手続きとしては、オプトアウトの機会を設ける場合があります。オプトアウト文書は国立循環器病研究センター公式サイト（ <a href="https://www.ncvc.go.jp/">https://www.ncvc.go.jp/</a> ）の『実施中の臨床研究』のページに公開いたします。
14	この研究の結果について	この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません
15	問い合わせ	国立循環器病研究センター 脳卒中・循環器病次世代医療研究部 医師 連乃駿 TEL 06-6170-1070（内線 31243）

\*J-ASPECT 研究

本研究の研究内容、参加施設名、患者さん向けの資料などにつきましては、研究班ホームページ（J-ASPECT Study、<https://j-aspect.jp>）にて随時公開されています。

東松山市立市民病院 院長